

主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

| | | | | | |
|-----------|---------------|------------------------|------|-------------|----------|
| ① 基本事項 | 計画コード | 事業名 | 部名 | 教育委員会事務局 | |
| | 17073 | 英語教育推進事業 | 課名 | 学校教育課 教育支援G | |
| | 施策の大綱 | 04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実 | 財務科目 | 会計 | 01:一般会計 |
| | 基本施策 | 01:子どもたちの豊かな学びと成長 | | 款 | 10:教育費 |
| | 施策の方向 | 03:子どもたちの育ちのための学びの展開 | | 項 | 08:教育研究費 |
| 戦略プロジェクト | - | 目 | | 01:教育研究費 | |
| 事業予定期間 | H 19 ~ R - 年度 | 主な根拠法令要綱等 | | | |

| | | |
|------------|--|--|
| ② 目的・概要 | 対象 | 小・中学校の児童生徒 |
| | 目的 | 令和2年4月の学習指導要領改訂により、小・中学校の英語指導において、「聞く・話す・読む・書く」の4技能を系統的かつ実践的に身につけることが求められる。ネイティブな英語に触れる機会の充実や、教員の英語指導力向上を図ることで、児童生徒の総合的な英語力の向上を図る。 |
| 概要 | JETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)や派遣委託によるALTを小中学校に配置する。また、小学生が楽しく英語に親しむ機会をつくるため、英語デイキャンプを行う。児童生徒の「聞く・話す・読む・書く」の技能を客観的に把握するため、外部試験等を行うとともに、教員の英語指導力向上のため、英語教育研修会を実施する。 | |

| | | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | |
|---------------|-----------|--|--|--|----------|
| ③ 事業の計画・実績 | 年度計画 | ○ALTの配置 ・JETプログラム(3名) ・派遣委託(2名) ○英語デイキャンプの実施 ○英語教育研修会の実施 ○英語試験の実施 ・市作成テスト(小:1回 中:2回) | ○ALTの配置 ・JETプログラム(3名) ・派遣委託(2名) ○英語デイキャンプの実施 ○英語教育研修会の実施 ○英語試験の実施 ・市作成テスト(小:1回 中:1回) ・外部試験(中:1回) | ○ALTの配置 ・JETプログラム(3名) ・派遣委託(2名) ○英語デイキャンプの実施 ○英語教育研修会の実施 ○英語試験の実施 ・市作成テスト(小:1回 中:1回) ・外部試験(中:1回) | |
| | 年度実績 | ○ALTの配置 ・JETプログラム(3名) ・派遣委託(2名) ○英語デイキャンプの実施(8月8日) ○英語教育研修会の実施(2回) ○英語試験の実施 ・市作成テスト(小:1回 中:2回) | ○ALTの配置 ・JETプログラム(2名) ・派遣委託(3名) ○英語デイキャンプ→中止 ○英語教育研修会→中止 ○英語専科、ALT研修を4回実施 ○英語試験の実施 ・市作成テスト(小:1回 中:1回) ・外部テスト(中:1回) | ○ALTの配置 ・JETプログラム(3名) ・派遣委託(2名) ○英語デイキャンプの実施(7月28日) ○英語教育研修会 ・パフォーマンスに係る研修(1回) ・外部テスト分析(中:1回) ○英語試験の実施 ・英語チャレンジ(市作成)(小:1回) ・外部試験(中2、中3:各2回) | |
| 事業費 | 計画額 | 事業費 | 26,600千円 | 31,200千円 | 31,200千円 |
| | | 国庫支出金 | | | |
| | | 県支出金 | | | |
| | | 地方債 | | | |
| | | その他 | 1,060千円 | 1,060千円 | 1,060千円 |
| | | 一般財源 | 25,540千円 | 30,140千円 | 30,140千円 |
| | 予算額 | 事業費 | 25,990千円 | 30,111千円 | 30,964千円 |
| | | 国庫支出金 | | | |
| | | 県支出金 | | | |
| | | 地方債 | | | |
| | | その他 | 1,077千円 | 1,077千円 | 765千円 |
| | | 一般財源 | 24,913千円 | 29,034千円 | 30,199千円 |
| 決算額 | 事業費 ① | 24,459千円 | 29,568千円 | 30,499千円 | |
| | 国庫支出金 | | | | |
| | 県支出金 | | | | |
| | 地方債 | | | | |
| | その他 | | 921千円 | 765千円 | |
| | 一般財源 | 24,459千円 | 28,647千円 | 29,734千円 | |
| 人件費 | 総人件費 ② | 7,849千円 | 7,839千円 | 7,903千円 | |
| | 一般職員 | 7,849千円 | 7,839千円 | 7,903千円 | |
| | 所要人員 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | |
| | 会計年度任用職員等 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | |
| 総コスト(①+②) | | 32,308千円 | 37,407千円 | 38,402千円 | |
| 受益者負担率 | | 0.0% | 0.0% | 0.0% | |

| | | | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | |
|------|---|-----------------------------------|-------|--------|--------|--------|
| ④ 指標 | ① | 名称 学校へのALT配置人数 | 計画値 | 5 | 5 | 5 |
| | | 市内各小中学校で活用されているALTの人数 | 実績値 | 5 | 5 | 5 |
| | | | 単位 | 人 | 人 | 人 |
| | ② | 名称 「聞く」「話す」の技能を測定するパフォーマンステスト実施回数 | 計画値 | 小:1中:2 | 小:1中:2 | 小:1中:2 |
| | | 英語科パフォーマンステストの実施回数 | 実績値 | 小:1中:2 | 小:1中:3 | 小:1中:1 |
| | | | 単位 | 回 | 回 | 回 |
| | ③ | 名称 子どもの満足度 | 計画値 | 80 | 80 | 85 |
| | | 英語活動・英語科に対する、児童生徒の肯定評価の割合 | 実績値 | 73 | 80 | 83 |
| | | | 単位 | % | % | % |

| | | |
|---------|------|--|
| ⑤ 事業の改善 | 前回評価 | 【前回評価の対応方針の概要を記入】 外国語科、外国語活動の充実と、ALT、教員による指導力の向上により、質の高い授業を図る。子どもたちの外国語科、外国語活動に対して、肯定的評価の向上を図る。心身ともに健康なALTの配置を行う。 |
| | 改善行動 | 【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 JET-ALTの生活面でのサポートを行った。児童生徒にとって、効果的な授業を行うために、英語教育研修会やALT研修会を実施。新型コロナウイルス感染症により、JET-ALTがスムーズに進んでいないため、ALT1名を業者派遣により、ALTの人数を確保した。 |

| | | 評価 | (判定) |
|---------|----|--|-----------------|
| ⑥ 事業の評価 | 活動 | 【計画どおりに実施できたか】 本年度もALT5名の配置を行うことができ、昨年度同様、学校規模や学年に応じて週1回～週4回の派遣を行った。外部テストや市作成のテストの結果分析等、英語担当者や英語専科による英語教育研修会を年2回、ALT研修会を実施した。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を十分行いながら、川崎小学校で英語キャンプを行った。令和4年度から令和6年度のALT派遣について業者選定のプロポーザルを行った。 | A 計画どおり実施できた |
| | 成果 | 【成果は順調に上がったか】 このコロナ禍で、今までと同じ5名のALTが配置できたことは、児童生徒にとって、ネイティブな英語に触れる機会が確保されたという意味で非常に大きかった。英語キャンプにおいては、ALTや英語担当教員を中心にゲームやダンス、劇等、楽しむながら英語に親しむ活動ができた。 亀山市教育委員会作成のテストにより、「聞く・話す・読む・書く」4技能について、客観的に評価・分析を行い、「話すこと」は抵抗なく話すことができているが、「書くこと」については自分の名前を書く等で課題が見られた。令和4年度から令和6年度の派遣業者を決定した。 | A 十分な成果を得た |

| | | | |
|-----------|------|---|---------------------------------|
| ⑦ 今後の対応方針 | 課題 | 【課題は何か】 JET-ALT2名と4か月契約の派遣1名が任期終了で、8月からは、新規JET3名に切り替えの予定。しかし、新型コロナ感染症により、JETの派遣がスムーズに進んでいない現状で、うまくJETが配置できるかどうか難しい状況である。また、担任とALTの打ち合わせ時間が十分に確保されていない。児童生徒がつけた力の客観的な把握の方法と、授業改善への生かし方を研修していく必要がある。また、小学校5、6年生で英語が教科化されたことで、主体的に学ぼうとする意欲がやや低下している。 | 次期実施計画への方向性 【その他の場合、その内容を記載】 |
| | 対応 | 【課題に対し、どのように対応するか】 子どもたちが主体的に学習できるよう、ALTや教員の指導力の向上を図る。研修会の実施、校内で担任とALTがスムーズに連携できるよう、英語専科とALTの配置や方法を考慮する。外部試験の結果分析を行い、授業改善に生かしていく。心身ともに健康な新規JET-ALTの確保に向けて、JETプログラムへ働きかけを行っていく。日本での生活経験の有無や日本語能力やコミュニケーション力の高さ等に留意しながら、新規JET-ALTの生活面・指導面、両面でのサポートを行う。 | |
| | 効果 | 【対応することで、どのような効果が期待できるか】 全小中学校において、ALTのネイティブな英語に触れる、異文化に触れる機会を持つ等、児童生徒が学習した英語を様々な場面で使える場を設定し、総合的な英語力の向上を図ることができる。 | |
| | 対応時期 | 令和4年度 | |

| | |
|---------|-----------------------------------|
| 【1次評価者】 | 教育委員会事務局 学校教育課 教育支援グループリーダー 前田 亜弓 |
| 【最終評価者】 | 教育委員会事務局 学校教育課長 宇野 勉 |

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

| | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|----|----|-----|-----|----|----|----|
| 判定 | 活動 | B | A | A | A | A |
| | 成果 | B | B | B | B | A |

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

| | | |
|----------|-------------|-----------|
| 予算額(事業費) | | 30,964 千円 |
| 内訳 | 令和2年度からの繰越額 | 千円 |
| | 令和3年度の最終予算額 | 30,964 千円 |
| | 令和4年度への繰越額 | 千円 |